



定住者インタビュー



美しい景色に魅了された

岡村美奈江さん（武吉町）長野県から転入

初めて綾部市に遊びに来たとき、テレビで見た「日本昔ばなし」に出てきそうな美しい景色に感動しました。ホームページを見て、定住サポート窓口に相談。空き家を何件か紹介してもらいました。山を越えて川を渡り、畑のそばを通って家に着くまでの道のりがとてもわくわくしたことが決め手になり、築150年以上の古民家を購入。現在、夢だったカフェを運営しています。

窓口では、事前に田舎暮らしの注意点を教えてもらったり、引っ越しの際には一緒にあいさつ回りをしてもらったりして心強かったです。

私が今ここで生活できるのは、近所の皆さんがとても仲良くしてくれているおかげ。花や野菜をくださったり、困ったときは助けていただいたり。何かと気にかけて声を掛けていただき、とてもありがたいです。



ここは朝の澄んだ空気や雨の音、自然のにおいを感じながら暮らせる場所。自宅近くの景色が好きで、「こんな景色は見たことがなかった」と岡村さん

子どもたちも伸び伸び

水田真司さん、亜由美さん、春くん、朝くん、景ちゃん（上八田町）大阪府から転入

田舎暮らしがしくて、さまざまな移住セミナーに参加していました。たまたま綾部市の定住支援住宅を見つけ、同時に近隣で就職が決まったこともあり移住を決意。古民家に憧れはあったものの知らない土地に住むことに不安もあり、定住支援住宅として貸し出してもらえてありがたかったです。また、入居前には地域の人と顔合わせの機会があり、そこでいろいろと教えていただき助かりました。

最初は電車やビルがない生活に戸惑っていた子どもたちもすぐに慣れ、虫を捕まえたり元気に走ったりして、伸び伸びと遊んでいます。入居期間の3年目に長男が小学校に就学。引き続き綾部で暮らすため、市内の空き家に引っ越ししました。今は趣味で家庭菜園をしています。ゆくゆくは自分たちで食べる分を賄い、少しでも加工・販売できるようにするのが目標です。



「家の近くにホテルがいることに驚きました。普段車を運転しているだけで、何気ない景色が美しく感動します」と水田さん

よーい、やーい、あーい。

住みたくなるまち、綾部に住む

市は、第5次綾部市総合計画において、人口減少に対応するため定住・交流促進に重点を置き施策を推進。昨年度は市の定住サポート窓口（定住促進課）を通じて、19世帯45人（うち、18歳未満8人）の定住が実現しました。今回は「定住」をテーマに、市の取り組みや定住者の声などを紹介します。

先駆的な取り組みで実績着々と

綾部市は、山紫水明の豊かな自然や魅力ある里山をもつ田園都市。しかし、都市部への転出や少子高齢化などにより、毎年約400人の人口が減少しています。市は、定住者を増やし、将来にわたって活力あるコミュニティを維持するため、これまでに▽定住促進課の設置▽空き家登録制度の導入▽定住支援住宅の整備▽「綾部市住みたくなるまち定住促進条例」の制定など、先進的な取り組みを展開。併せて、「医・職・住」＋「教育」「情報発信」の充実を

空き家を募集

現在、市の窓口に登録している定住希望者は約590世帯。その多くが、田舎ならではの古民家での生活を希望しています。市は、空き家登録制度を設け、売買や賃貸を希望する市内の空き家を登録。



空き家を借り受け、定住支援住宅として整備

柱に、綾部に「住んでよかった」「住みたくなる」まちづくりを進めています。市の窓口を通じた定住者は、支援を開始した平成20年度から8年間で累計155世帯369人。「住みたい田舎」として雑誌で紹介されるなど、着実に実績を上げています。

定住希望者に紹介しています。しかし、空き家の登録件数は常時約30件。希望者に対し提供できる物件が不足していることが課題です。市は、空き家の売買や賃貸借の契約トラブルを未然に回

避けるよう、市内の宅地建物取引事業者と連携。安全・安心に取り引きできる環境を整えています。空き家に入居者を迎えることは、地域活性化や敷地の維持・管理、防犯・防災などの面でメリットも。空き家の提供を希望される場合は、ぜひ一度お問い合わせください。

良い風生かし定住を推進

平成26年度に開通した舞鶴若狭自動車道に続き、昨年7月には京都縦貫自動車道が全線開通。2つの高速道路が交差する本市は、ゆったりとした田園風景に囲まれながらも、都市部に短時間でアクセスできる場所。両自動車道の開通により「ヒト」や「モノ」の流れが大きく変わり始め、交流人口が増加しています。

また近年、自然豊かな里山での暮らしが見直され、人々の価値観が都市への集中から田園回帰に変わりつつあります。市は、こうした地の利や豊かな里山の魅力を市内外に広く発信し、今後も定住施策に取り組みます。

私たちが定住をサポート！



市が平成22年度に新設した定住促進課。定住のワンストップ窓口として、空き家の紹介だけでなく就職・就農支援や集落活動の紹介など、関係機関と連携して支援を行っています。「田舎暮らしがしたい」「空き家の活用に困っている」など、お気軽にご相談ください。詳しくは、定住促進課☎(42)4270へ。

